

第59回



主催 中日新聞社

後援 岐阜県教育委員会

中日ピアノグレードテスト

中日新聞

令和7年 11月24日 朝刊

練習成果を披露する小学生「名古屋市港区の港文化小劇場」で

高めたピアノを
技量ごとに審査
名古屋で演奏会

ピアノの習熟度に応じて審査する「中日ピアノグレードテスト記念ピアノ演奏会」(中日新聞社主催)が24日、名古屋市港区の港文化小劇場で開かれ、愛知、岐阜両県を中心にピアノを習う45人が日ごろの練習成果を披露した。

4月と8月に名古屋市、岐阜市、岐阜県高山市であった審査会でグレードごとに合格した小学生から社会人までの認定者が出場。ベートベンやショパン、バッハらの楽曲を奏でた。

59回を数える演奏会で、習熟度別にアドバイスを受けられるのが特徴の一つ。実行委員会の川口豊会長(75)は「上達に向け、今後どう練習すればいいか学ぶ機会になれば」と話した。

◇表彰された皆さん 最優秀者賞 鈴木啓太(明和高2)▽優秀者賞 岸本優美(岐阜県加納高2)▽準優秀者賞 鈴木維人(名古屋城西小6)▽小林紗菜(岐阜市本庄小2)▽小林美友(三重大1)▽特別奨励者賞 福原綾南(名古屋市菊里高2)



第59回 記念ピアノ演奏会 兼P.G.T.ピアノコンクール

とき 令和7年11月24日
ところ 名古屋市港文化小劇場

審査員

審査委員長 長谷川 淳 伊藤 仁美 虫賀 太一
廣澤 純子 垣内 裕子

第59回の参加者をご指導、運営にご尽力くださった先生方

- ・ 縣友里恵・天野比鶴・石原麻美子・伊藤仁美・今井真理子・今村富士江
- ・ 今村洋平・宇野恭子・大井真葉・垣内裕子・加藤朋子・北村真紀
- ・ 黒木貴子・黒田ゆか・小垣内淳子・澤美幸・白川博子・高橋紫帆
- ・ 高松公恵・滝本めぐみ・田中陽子・棚瀬幸子・土屋実記朗・西村知美
- ・ 野坂真奈美・橋本亜紀・長谷川淳・馬場順子・兵頭真紀子・廣澤純子
- ・ 廣瀬恵子・廣瀬淳子・藤原康子・二村裕子・古田洋子・堀井優梨香
- ・ 水谷真美・御母衣沙織・虫賀太一・虫賀康子・武藤裕美子・森崎一子
- ・ 安田佳代子・山口千賀子・山腰恵子

・ 以上の他に 不詳者若干名

本年度名古屋、高山、岐阜の各グレードテストに参加され認証を受けられた45名の皆さまが出演された港文化小劇場はグレードテスト関連としては初めての使用となり私には新鮮でした。ホールの響きはかなりデッドでよく言えばクリアー、逆に言えば粗が目立つホールでした。そんな中演奏を通して皆様の日頃の着実な取り組みが感じられました。全体講評でもお話ししましたが演奏の一番の基本となるテンポやリズムについては皆様十分に意識をもって取り組んでおられ曲の構成もしっかりしていて安定した演奏が多かったです。しかしそこから更に聞き手に迫る躍動感やエネルギー、曲への強い想いなど、言わば内容的な事柄についてはやや物足りなく感じたのは私一人だけでしょうか？

演奏はコミュニケーションの一つです。奏者と聞き手が音楽の感動を共有して初めて充実したコンサートが成り立ちます。今回皆様はステージでやや硬くなり萎縮してしまった印象です。失敗を恐れずもっと大きく伸び伸びと自分の演奏をしてみてください。そして今日のホールを初め、様々な条件のホールで本番の緊張感を積み重ねることで段々本番でも自分の音が聞けるようになりピアノやホールの響きの違いもその場で感じ取り即座に対応出来るようになります。こうした意味からもホールの経験値は大切です。来年度も引き続きこのグレードテストに積極的に参加され経験値を増やされますことを願います。私達はこれからも皆様の更に進化した演奏を聞かせて頂けるのを楽しみにし、応援しております。

深まりゆく秋の一日、名古屋市の港文化小劇場で、各地の審査会で選出された43人の記念ピアノ演奏会を聴かせていただきました。皆この演奏会に向けて、本人は勿論、ご家族やご指導いただいている先生方の、強い意気込みを持って学んでくださった事がよくわかり、胸が熱くなりました。特に後半は素晴らしいコンサートを聴かせていただいているようでした。この中日グレードテストから、世界に羽ばたくピアニストが誕生してくれるのを楽しみにしています。

全体的には、とても良く調整されたピアノを用意していただいたので、響きのある良い音で弾いてくださる方が多かったのはとても嬉しく思いました。けれども改めてピアノという楽器は弾く人によって様々な音質になり、デューナーミクの幅も大きく変わってくるものだと思えました。

初めて参加された方々の中には、作曲家について生まれた場所、時代を調べたり、自分が弾く曲だけでなく、もう少しその作曲家のいろいろな作品を聴いてほしいな、と感じる人もいました。そして、ピアノの曲だけでなく、オーケストラをはじめ、いろいろな楽器の音、声の音楽などを聴き、耳を育てていってほしいと思いました。けれどもレベルの差はあれ、少しずつ基礎力を身につけながら、末永くピアノを弾き続けてくださるようお願いしております。

記念演奏会お疲れ様でした。精一杯準備されてきたことが感じられる演奏が多く、とても楽しく聴かせていただきました。

1点だけ、4月や8月の審査会で書かせていただいた講評をしっかりと読んでいただけているのか、ということが気になりました。もちろん講評が送られてきた時は読んでいただけていると思います。時間が経つと忘れていってしまうことは仕方がないので、例えば11月の演奏会の1ヶ月前にもう一度見直してみるとか、取り組んでいる楽譜に貼っておくなどしていただけると、次のステップにつなげることができると思います。

私が審査会の講評で多くの方に書かせていただいたことは、奏法についてです。奏法はそれぞれの先生によって様々ですので、正解は1つではないとは思いますが、手首や腕の力に頼り過ぎて、指先の力が弱い方が多いなといつも感じています。指先の打鍵のスピードをうまく使いこなすことができればもっといい音が出せるようになると思いますので、是非参考にしていただけると嬉しいです。

次回の審査会で、さらに成長した姿を見られることを楽しみにしております。



本日は皆様大変お疲れ様でした。集中度高く、大変密度の濃い、とても良い音楽を聴かせてくださった方々が多く、審査していることをふと忘れてしまう程、良い時間を過ごさせて頂きました。又、ご受賞された方々、誠にありがとうございました。僅差で賞には届かなかった方々も、今のベストはきっと出し切れたのではないのでしょうか。是非、今後もチャレンジを続けてください。応援しております。入賞された方々もこれに甘んじることなく、今回見つけた課題を次回は必ず克服することを目標に、さらなるご研鑽をお祈りいたします。

全体的にはとても良かったと思いますが、本日もやはり気になったのは、ピアノの反応やホールの響きに対応できていた人がどの位いたか、という点です。刻々とピアノの状態は変わり、ホールの響きも気温や湿度、人の入りに寄っても常に変化します。ピアノの響きにしっかりと耳を傾けながら対応し、弾き切れた人達の多くが入賞されていたように思います。普段練習する時は、技術や音楽性を磨きつつも、常によりよい耳を育てる意識を持つことが大事だと痛感いたします。

さらに、作曲家がその曲を通して何を伝えたいのか、というメッセージを自分なりに読み解くことも大切にして頂きたいです。作曲家の意志を自分の言葉で「通訳する」ような気持ちで聴衆に伝えてください。

来年もさらに成長された皆さんの演奏を聴かせて頂けることを楽しみに、私自身も精進して参ります。また素敵な音色を聴かせてくださいね。本日は本当にありがとうございました。

素敵な演奏をたくさん聴かせていただき、ありがとうございました。今回の演奏から、作品に真剣に取り組んでこられたことがよく伝わりました。更に良い演奏を目指していただきたいので、気付いた点をお伝えします。

まず気になったのは、メロディーと伴奏の音量が近すぎると、音楽全体が重く、ややうるさく感じられることがある点です。曲の流れや旋律の美しさを際立たせるためには、メロディーを少し前に出し、伴奏を支える音として調整すると、自然で心地よい響きになります。また、音色を工夫することで、近くで語りかけるような響きや、遠くに広がる響きを場面ごとに使い分けられると、演奏の表情がさらに豊かになります。

さらに、演奏中に音楽を心から楽しんでいることが伝わるのが大切です。そのためにも、動画やCDだけでなく、実際のコンサートに足を運んでプロの演奏を体感することは、表現力や感覚の幅を育む大きな力になります。作曲家の時代背景やスタイルを理解し、曲の構造や和声の変化に沿った表現を意識すると、演奏に説得力が生まれます。

現在の技術や感性を生かせる曲選びをすることで、さらに自信を持って演奏できるでしょう。今後の成長を心より楽しみにしています

第59回中日ピアノグレードテスト記念演奏会兼ピアノコンクールを11月24日に名古屋市港文化小劇場におきまして開催しました。名古屋審査会、飛騨高山審査会、岐阜審査会におきまして合格と認定されました方の中から45名の方にご参加をいただきました。皆様の素晴らしい演奏を聞かせていただき、大変に喜ばしいことと思っていました。皆様、日頃の練習の成果を十分に発揮され、思う存分に演奏されました。こうした真摯なお姿に接するにつけ、中日ピアノグレードテストの主旨が多くの皆様にご理解をいただいていることを大変に嬉しく思いました。

世界情勢に目を向けてみますと、いろいろなところで世界が大きく変革しようとしています。普遍かと思っていました芸術の価値観についても、例外ではないようです。芸術の世界でも不変の中にも新しい価値を求めて羽ばたいていくことも大切かと思えます。

ピアノを習熟するためにはやはり基礎を正しく身につけることです。基礎がしっかりしていれば心に響く音楽を発信することができます。練習曲にはそれぞれ目標が設定されています。その目標を自らの感性を発揮して見つけましょう。基礎を身につけるためには、先生の指導のもと練習曲を正しく演奏することが大切です。そして大切なことは、自分が出している音がどんな音なんだろうかと自分の耳でよく聞き分けることです。例えばたくさんのエチュードを残してくれている大作曲家チェルニーの数々の練習曲、明らかに運動機能の増進を求めている曲もあるでしょう。でも大作曲家チェルニーのことを考えたとき、彼が紡ぎだした音楽は決して指の体操音楽ではないはずです。大作曲家チェルニーが望んでいるのは決して乱暴な音ではなく、優しく響く音です。常に美しく響く音を探してください。だからどんな気持ちで弾くのか、どんなことをピアノで語りたいのか、どんな音で弾きたいのか、この曲の作曲家はどんなことを心に描いていたのかなどを鍵盤を押して音を出す前にしっかりと心に描きます。そして、出た音が自分の心を現しているか自分の耳で聞いて、感じて演奏します。皆様の心のこもった音、心のこもった音楽を聞かせていただくことを楽しみにしています。



P.G.T コンクール 審査結果

🏆 最優秀賞

No.40 1 6 級

鈴木 啓太

愛知県立 明和高等学校 2 年

🏆 優秀賞

No.41 1 6 級

岸本 優美

岐阜県立 加納高等学校 2 年

🏆 優秀賞

No.35 7-B級

中林 深緒

岐阜市立 本庄小学校 6 年

🏆 準優秀賞

No.27 5-A級

鈴木 維人

名古屋市立 城西小学校 6 年

🏆 準優秀賞

No.27 5-A級

中林 紗菜

岐阜市立 本庄小学校 3 年

🏆 準優秀賞

No.27 5-A級

小林 美友

三重大学 1 年

🏆 特別奨励者賞

No.27 5-A級

福原 緩南

名古屋市立 菊里高等学校 2 年



中日ピアノグレードテスト

一步一步、ここから高みへ、私たちが寄り添います。

〒476-0003 愛知県東海市荒尾町金山 2 2 0

☎ 090-9195-6421

✉ imamura3412@gmail.com



成績優秀者

※惜しくも賞外でしたが成績優秀者をここで掲示致します。

No.38 8 - A 齋藤 瑞弦

No.44 - 1 6 - 根東 祐里佳

No.03 1 - C 矢木野 莉佳

No.10 2 - B 鵜飼 聖那

No.17 3 - B1 細見 凜音

No.39 - 1 6 - 南 珠亜

No.25 4 - B2 秦 悠真

No.16 3 - A1 平野 芭和

No.31 6 - A 村井 陸翔

No.35 7 - A 岸 常吉

審査委員長 長谷川 淳によるワンポイントレッスン 参加者

No.27 5-A級

鈴木 維人

No.35 7-B級

中林 深緒

No.41 1 6 級

岸本 優美



ワンポイントレッスン風景

事務局長 今村 洋平

結果ではなく自分の音と向き合って

皆さんの演奏をいつも楽しく聞かせて頂いております。今回もとても素晴らしい演奏の数々でした。なにより、審査会から記念演奏会までの成長や、去年からの変化なども聞いていてとてもうれしくなるポイントです。ピアノ学習者にとって半年一年という期間はここまで成長できるものなのかと改めて実感致しました。

この会において一番大事にしていることとして、とても深く美しい音楽芸術の世界へ至る為に、日々練習を積み重ね、成長を続けるお手伝いをする事にあります。決して人と比べたり競争をすることを第一目的としておりません。他の人の演奏を聴くことで、自分ひとりだけでは気がつくことができない発見であったり、練習曲を進める目標としてであったりと、自分自身が成長するための場として活用してほしいと考えています。

結果のみにこだわるのではなく、自身の練習はよりよく行っていたのか。舞台に立つときには目標を掲げて、それが達成できたのか。

そこに重きを置いて、これからも練習に励んでください。自分自身と向き合っていければ、自分だけの伝えたい音楽や自分にしか出せない音色がもっと鮮やかに表現できるようになると信じています。

皆さんの成長をとても楽しみにしております。



中日ピアノグレードテスト

一歩一歩、ここから高みへ、私たちが寄り添います。

〒476-0003 愛知県東海市荒尾町金山 2 2 0

☎ 090-9195-6421

✉ imamura3412@gmail.com



第60回



令和7年度 中日ピアノグレードテスト開催予定

第60回（2026年度） 名古屋審査会

2026年 **4 / 1**（水）
名古屋市千種文化小劇場

【申込締切日】
2026年3 / 15（日） 厳守

第60回（2026年度） 飛騨高山審査会

2026年 **4 / 2**（木）
高山市民文化会館小ホール

【申込締切日】
2026年3 / 15（日） 厳守

第60回（2026年度） 岐阜審査会

2026年 **8 / 11**（祝・火）
岐阜市文化センター小ホール

【申込締切日】
2026年3 / 15（日） 厳守

第60回（2026年度） 各審査会認定者のための 記念ピアノ演奏会 兼 P.G.T. ピアノコンクール

2026年 **11 / 23**（祝・月） **じゅうろくプラザ**
（岐阜市文化産業交流センター）

【参加資格】

ピアノを学ぶ者であれば、どなたでも参加可能。年齢、性別、国籍などは一切問わない。

【課題曲】

別紙参加申込書に記載の課題曲一覧表を確認の上、参加者各自が自由に選択すること

【参加方法】

別紙参加申込書記載の上郵送、または下記QRコードより参加申込表ページから申し込みすること



中日ピアノグレードテスト
一歩一歩、ここから高みへ、私たちが寄り添います。

〒476-0003 愛知県東海市荒尾町金山220
☎ 090-9195-6421
✉ imamura3412@gmail.com

